

# きょうと福祉倶楽部だより

## 2023年 第4号

### ヘルパー奮闘記

#### 寄り添うということ

Mさん(84歳、女性、要介護2)は一人暮らしです。市内に息子さん夫婦が済んでいて、義嫁が週に1~2度買い物帰りや勤め帰りに立ち寄るようです。

骨粗鬆症があり、過去に転倒し骨折で2回入院。膝痛や腰痛もあります。最近では認知症も少し進み、同じ事を何度も話したりすることもあります。

デイサービスは週2回、以前、一人で入浴し腕を骨折したようです。ですので、家で入浴をしてほしくない、と言う家族に説得されデイサービスを利用されることとなりました。

訪問介護サービスは週2回、ゴミ出し、お買い物と掃除の生活介護です。住まいは集合住宅の1階でご近所付き合いもあり、たまに近所の方が訪ねてこられ、一緒にお茶を飲むのよ。と嬉しそうにお話してくれます。

ヘルパーのサービスの後はだいたい近所の接骨院へ歩いて行きます。そこで集まった3人のおばあさんの集まりがあるそうです。接骨院はついでです。

Mさんはその3人を「3ババ」とよんでいます。

「今日は足が痛いから、出かけるのやめようかしら…」と、その日の体調に合わせて出かけるのか決めます。



病院の後に3ババとおしゃべりしながら近所のスーパーで買い物をして帰るのが楽しみ。

とのこと。「無理なさらないでくださいね」と掃除のつづきをしていると、「今日は、何を食べようかしら」と冷蔵庫を物色し始め、「今日はお鍋にしよう」と、「野菜があるけど、お肉がないわね。」と、お買い物に出かける準備を始めます。

接骨院はついでで、メインは3人での集まりです。

「足は大丈夫ですか?」と聞くと、「ん?いつも痛いよ、大丈夫」と…

今日は出かけない方が良いでしょう、と思いながら見守ります。

出かける準備に隣の部屋へ行き替えているはずのMさん。

「すみません、ちょっときて!」と声がする方へ行くと、床にへたって立たなくなっておられる。「足に力が入らなくて立てないのよ」と、四つん這いのようにもたもた手すりのあるところまでいってもらい腰を支えると立つことができました。

「よかった、慌ててしまって、ごめんなさいね。」と、笑顔。

そのあと予定通り準備。お出かけになるようです。

楽しみがあると、膝の痛いのも、忘れるのですね。心配ですが送り出します。これからも、寄り添い、できること、やりたいことを見守る介護ができればと思います。

きょうと福祉倶楽部 N

新型コロナウイルス感染拡大に伴う  
利用者みなさんへのお願い



おねがい

●サービス利用中は可能な限りサービスご利用の方もマスクの着用をお願いします。

●利用者、同居の家族のかたの体調不良(発熱など)はあらかじめきょうと福祉倶楽部までご連絡ください。

有限会社 おとくに福祉研究所

きょうと福祉倶楽部



〒617-0824

長岡京市天神4丁目7-12 ハイツ東台101号

TEL 075-958-2560 FAX 075-957-2808

E-mail info@fukushi-club.com